

謹 賀 新 年



安全祈願祭ならびに賀詞交換会



1月5日(金)、新春恒例の安全祈願祭ならびに賀詞交換会が開催されました。当日は穏やかな晴天に恵まれ、溝口神社は多くの参拝客で賑わっておりました。神職によるお清めのお祓いと祝詞に続き、神奈川労務安全衛生協会川崎北支部長、川崎北労働基準監督署長のほか、関係各部会の部会長の方々が玉串奉奠を致しました。厳粛な雰囲気の中、各事業場ならびに参加者各位の安全を

ご祈願いただき、滞りなく終了致しました。

その後、ホテルKSPへ場所を移し、賀詞交換会が開催されました。神奈川労務安全衛生協会川崎北支部の野口支部長、川崎北労働基準監督署の石井署長よりご挨拶をいただき、西村副支部長の乾杯で開かれた会は、監督行政ならびに関係諸団体との有意義な情報交換の場となりました。中締めは、神奈川労務安全衛生協会川崎北支部の仁上衛生部会長が務められ、安全、安心な事業場作りに向けて取り組んでいく気持ちを参加者全員でひとつにしました。



平成30年 年間標語

健康な心と体で安全作業 目指すは笑顔の無災害

年 頭 の ご 挨拶

(公社)神奈川労務安全衛生協会川崎北支部

支部長 野口 純



新年明けましておめでとうございます。

平成30年新春を迎え、会員の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、旧年中は協会並びに支部主催の活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。本年も引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

さらに、旧年中は当支部主催の行事を無事に実施することができました事、これもひとえに川崎北労働基準監督署をはじめとする関係諸官庁のご指導と関係諸団体の皆様のご支援の賜物と改めて御礼申し上げます。

さて、2018年の景気見通しの企業の調査結果では、「景気回復」を見込む企業は20.3%であるのに対し、景気への懸念材料といたしましては「人手不足」の47.9%が最多となり、2位「原油・素材価格(上昇)」、3位「消費税増税」、4位「地政学リスク」となっております。

東アジアや中東の政治情勢に対する不透明感が増す中、「地政学リスク」を懸念する企業は19.1%と、前年の5.7%から大幅に増加しています。景気回復のために必要な政策として「個人消費拡大策」「所得の増加」「個人向け減税」「法人向け減税」「年金問題の解決(将来不安の解消)」が上位5項目にあげられます。

また、労働災害を全国で見ると昨年12月の速報では、死傷者数1.7%増加、死亡者数3.0%増加。死傷災害の業種別では、製造業0.4%増加、建設業0.8%減少となっており、型別では、転倒2.3%増加、墜落・転落0.9%増加、動作の反動・無理な動作8.0%増加。死亡災害の業種別では、製造業4.9%減少、建設業5.2%増加。型別では、墜落・転落6.4%増加、はさまれ・巻き込まれ9.7%増加となっております。

第三次産業への就業人口の急速な移動や労働者全体の年齢階層が高年齢に移行していることもあり、死傷災害に至ってはかつてのような減少は望めず、これまでとは異なった視点での対策が求められています。このような状況下、2018年度を初年度とし5年間にわたる第13次労働災害防止計画に掲げる目標達成に向けてさらに取組を強化することが必要と思われるところでございます。

また、企業で見ると昨年同様に経験が浅い社員の災害の割合が高いこと、また熟練者の災害が後を絶たない特徴があります。対策としては、危険を危険と感じる感受性を高める意識高揚が必要なことと、危険とわかっているが過去の経験値で大丈夫だと判断してしまう危険取行性の意識改革が必要不可欠と考えるところでございます。

これらを踏まえ、当支部におきましても、川崎北労働基準監督署をはじめとする関係諸官庁、諸団体と連携し、労働災害防止のため、より効果的に事業計画を推進してまいります。

なお、会員事業場全員が安全・安心・健康で快適に働ける一年にするために皆様方のご理解とご支援を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

川崎北労働基準監督署

署長 石井 登



新年明けましておめでとうございます。

平成30年の年頭に当たり、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会川崎北支部の会員及び会員企業で働く皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

昨年は「働き方改革」という言葉が、頻繁にニュースとなった1年でした。幾度か心身ともにすり減らすほどの長時間労働をした結果、脳・心臓疾患や精神疾患を発症し、労災認定された事案が報じられていました。

「KAROU SHI」という言葉が世界的に広まるなか、法制度の改正を含めた国家的な取組が必要となり、総理が自ら議長として「働き方改革実現会議」において、昨年3月に取りまとめられた「働き方改革実行計画」は「働き方」は「暮らし方」そのものであり、働き方改革は、日本の企業文化、日本人のライフスタイル、日本の働くということに対する考え方に手をつけていく改革である、として、社会制度の変革を求めるものであると明記されました。

そして、この実行計画を受けて、昨年9月に厚生労働省が労働政策審議会に諮問した「働き方改革を推進するための整備に関する法律案要綱」の答申が得られ、今後、国会に提出される法案の準備が整っています。

過重労働対策は、働き方改革の最重点として「罰則付き時間外労働の上限規制の導入など長時間労働の是正」が取り上げられました。労働基準法第36条の時間外・休日労働による協定「36(さぶろく)協定」は、労使協定を締結することにより、本来臨時的なものとして必要最小限にとどめられるべきものであることを、労使が十分認識したうえで労使協定を締結することを期待しているものでしたが、時に過重労働となりうる長時間の特別条項協定を締結することにより、過度な労働実態が引き起こされることがありました。

改正法律案では、一部の業種、職種を除いて「時間外労働の上限について、月45時間、年360時間を原則とし、臨時的な特別な事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満(休日労働含む)、複数月平均80時間(休日労働含む)を限度に設定」とされております。年間時間に上限を設けるとともに、新たに時間外労働と休日労働を合わせた時間をもって、各月において過重労働とならないようにその抑制を図った仕組みが構築されております。

今後、立法機関で審議された後、70年以上の時を経た大改正により制定された法律の趣旨が社会に浸透し、この国から「KAROU SHI」という言葉がなくなる時代が築かれることを願って、私の初夢を兼ねた御挨拶とさせていただきます。

神奈川労務安全衛生大会 労務安全衛生功労賞受賞ならびに支部別安全競争優勝

10月19日（木）、川崎市教育文化会館において平成29年度神奈川労務安全衛生大会が開催されました。

川崎北・南支部が運営担当となり、神奈川県内の事業場から433名の参加者を得て開催された本大会におい



ては、当支部から3名が労務・安全・衛生分野の向上に貢献した方に贈られる「労務安全衛生功労賞」を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。また、当支部は、平成28年度の安全成績・活動状況が最も優秀であった支部に贈られる「支部別安全競争優勝」の表彰を昨年度に続き2年連続で受けました。



＜労務安全衛生功労賞 受賞者＞ 右から

株式会社光洲産業	江島 恒敏 様
旭ダイヤモンド工業株式会社玉川工場	片貝 敏彦 様
三菱ふそうトラック・バス株式会社	木下 尚映 様

平成29年度川崎市労働災害防止功労者及び功労団体被表彰者

掲題の件に関し、川崎北支部管轄において以下の方及び団体が選出され、福田川崎市長より表彰状が授与されました。

おめでとうございます。

＜功労者＞

株式会社エイシン川崎
代表取締役 田辺 和弘 様

＜功労団体＞ 左から

日吉電装株式会社 様
キャノン株式会社 小杉事業所 様

＜功労者表彰＞



＜功労団体表彰＞



労務・安全衛生特別セミナー

平成29年度労務・安全衛生特別セミナーが、11月16日（木）ユニオンビルにおいて35名出席のもと開催されました。（主催：川崎北労働基準行政関係団体協議会、後援：川崎北労働基準監督署、川崎北公共職業安定所）



野口協議会長の主催者挨拶、川崎北労働基準監督署の石井署長、川崎北公共職業安定所の藤田所長、来賓の神奈川労務安全衛生協会の渡辺専務理事からそれぞれご挨拶いただきました。

続いて、基調講演として神奈川労働局監督課の福田課長

から「労働基準監督行政をめぐる最近の状況」についてご講演いただきました。過重労働防止の現状の取り組み、長時間労働適正化による過労死防止対策、メンタルヘルス・パワハラ防止対策、働き方改革など、政府や省庁の方針や取り組み等について説明がありました。

今回、特別講演として公共職業安定所の山岸雇用指導官から「雇用関係助成金」についてご講演いただきました。雇用の安定、職場環境の改善、雇用環境の整備、仕事と家庭の両立支援、従業員のキャリアアップ・人材育成など、事業主をサポートする多岐に渡る助成金の内容について、詳細に説明いただきました。



セミナー終了後は、出席者による情報交換会が行われ、会員相互の親睦を深める、有意義な交流の場となりました。

川崎北労働基準監督署からのお知らせ

STOP！転倒災害プロジェクト神奈川

転倒災害は神奈川労働局内で発生する労働災害で最も多い災害です！（ワースト1）
平成28年に発生した転倒災害の休業日数は平均で40.2日です！（重症化）

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性があります。職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。「転倒」という身近なテーマから職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境の実現に向けて、神奈川労働局・川崎北労働基準監督署でも『STOP！転倒災害プロジェクト神奈川』として各種取り組みを実施しております。特に積雪や凍結による転倒災害の多い2月は重点取組期間であることから、各事業者ならびに安全担当者の皆様におかれましても御協力をお願いいたします。

※神奈川労働局では『ころばNICEかながわ体操』を動画で作成し、ホームページに公開しておりますので転倒予防体操として活用してください。

「ころばNICEかながわ体操」

動画へ ⇒



平成29年 労働者死傷病報告受理状況（12月末現在）

業種	年	当 年 (平成29年)		前 年 (平成28年)		増減数		増減率
01	製 造 業 小 計	42	(0)	30	(0)	12	(0)	40.0%
02	鉱 業 小 計	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
03	建 設 業 小 計	73	(0)	80	(1)	-7	-(1)	-8.8%
04	運 輸 交 通 業 小 計	43	(1)	52	(0)	-9	(1)	-17.3%
05	貨 物 取 扱 小 計	3	(0)	0	(0)	3	(0)	-
06	農 林 業 小 計	5	(0)	4	(0)	1	(0)	25.0%
07	畜 産・水 産 業 小 計	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
08	商 業	79	(1)	91	(0)	-12	(1)	-13.2%
09	金 融 広 告 業	6	(0)	6	(0)	0	(0)	0.0%
10	映 画・演 劇 業	1	(0)	2	(0)	-1	(0)	-50.0%
11	通 信 業	5	(0)	15	(0)	-10	(0)	-66.7%
12	教 育 研 究	2	(0)	4	(0)	-2	(0)	-50.0%
13	保 健 衛 生 業	69	(0)	60	(0)	9	(0)	15.0%
14	接 客 娯 楽	38	(0)	39	(0)	-1	(0)	-2.6%
15	清 掃・と 畜	20	(0)	25	(0)	-5	(0)	-20.0%
16	官 公 署	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
17	そ の 他 の 事 業	23	(0)	22	(1)	1	-(1)	4.5%
合	計	409	(2)	430	(2)	-21	(0)	-4.9%

※各欄左側の数字は休業4日以上災害件数、右側()内は死亡災害件数(内数)

各種健康診断結果報告書等の提出はお済みですか？

労働安全衛生法では、健康診断の実施とその結果を所轄労働基準監督署長あてに、遅滞なく、報告することが義務づけられております。平成29年中に実施された各種健康診断について、提出がお済みでない場合には、速やかに報告書の作成と提出をお願いいたします。

交通労働災害防止研修会

9月29日(金)、富士通ゼネラル川崎本社において「交通労働災害防止研修会」を開催しました。

神奈川県高津警察署交通課総務係の下地巡査部長より「交通事故の動向及び関連法令」について、川崎北労働基準監督署安全衛生課の林専門官より「交通労働災害の現状と防止策」について、特別講演としてNEXCO中日本高速道路東京支社厚木工事事務所の原田副所長より「高速道路安全走行のポイント」についてそれぞれご講演いただきました。

当日は12社20名の方が受講され、13:00から16:20まで熱のこもった講師のお話を聞き入っていました。重大事故になり易い高速道路上の安全運転について現実

第一種衛生管理者国家試験受験のための直前講習会

10月2日(月)、3日(火)の2日間、てくのかわさきにおいて「第一種衛生管理者国家試験受験のための直前講習会」を開催しました。川崎南支部との共催で26社40名が、受講されました。2日は、ミドリ安全株式会社の石井氏、3日は、ミドリ安全株式会社の阿部氏にご講義いただきました。

過去の試験問題の分析から出題されそうなところにポイントを絞った密度の高い講習会でした。受講者は、自信をもって試験に臨まれたことと思います。出張特別試験に向けたこの講習会は、来年以降も行っていく

粉じん作業特別教育

10月20日(金)、川崎市教育文化会館において「粉じん作業特別教育」を川崎南支部との共催で開催し、59名の方が受講されました。

本研修は特定粉じん作業に係る労働者に対し「粉じん作業特別教育規定」に基づき3人の講師の方から講演をしていただきました。

午前の部では労働衛生コンサルタントの椎野氏より「粉じんによる疾病及び健康管理」と「粉じんの発散防止及び作業場の換気方法」について、午後の部では3Mジャパン株式会社安全衛生製品技術部の伝田氏より「作業場の管理」と「呼吸用保護具の使用方法」について防

有機溶剤従事者安全衛生教育

12月5日(火)川崎市労働会館において川崎南支部との共催で「有機溶剤従事者安全衛生教育」を行い、53名が受講しました。有機溶剤作業の基礎知識のビデオ映写に続いて、ミドリ安全株式会社安全衛生相談室室長の田中氏より作業環境管理等について、労働衛生コンサルタントの西本氏より関連法令と災害事例について、味の素株式会社健康管理センター産業医の古河氏より有機溶剤による疾病及び健康管理についての講義が行

に起きた事故の状況を交え詳しくお話していただき、安全運転について改めて真剣に取り組もうとする気持ちが湧いてきました。受講後のアンケート結果も「非常に参考になった」「またこういう講習会に是非参加したい」等、肯定的な意見が数多く寄せられました。来年度も交通労働災害防止のため新たな企画も加えてこの講習会を開催すべきとの思いを強くした次第です。



予定ですので衛生管理者国家試験を受験する方は、是非受講することをお勧めします。



塵マスクの装着方法の実演を交えた講義がありました。最後にCSP労働安全コンサルタントの西本氏から「関係法令」について説明がありました。

講師の方々の熱の入った講義に参加された皆さんも大いに感じ入った様子が見受けられました。本日の研修を参考に、粉じん予防徹底を実践していただければとの思いを強く持った次第です。



われました。今後の業務に役立てられることが期待されます。終了後、受講者には、修了証が交付されました。



リスクアセスメント講習会

11月14日（火）10：00から16：00まで、ユニオンビルにおいて「リスクアセスメント講習会」を安全部会の主催で開催しました。

8社16名の方がリスクアセスメントの実施要領を受講したのち、2グループに分かれてリスクアセスメントの演習を熱心に研修しました。今回は安全管理者選任時研修講師でRSTトレーナーの相馬氏に実施要領の講義と全員参加の実技指導をしていただきました。

リスクアセスメントの「危険予知シート」を使って演習・グループ討議をおこない、10代から70代という幅広い年代の参加者が活発な意見交換・討議を展開しました。

講義終了後のアンケートでは「相馬先生の豊富な経験に

衛生管理者実務研修会

11月21日（火）、てくのかわさきにおいて16社19名の参加のもとストレスチェック制度講習会―「事例発表」と「具体的な取り組み方」をテーマに、衛生管理者実務研修会を開催しました。

川崎北労働基準監督署の綾部安全衛生課長による制度導入の背景、現状の説明の後、三菱ふそうトラックバス株式会社の道岡氏、あすか製薬株式会社の上原氏、学校法人聖マリアンナ医科大学の砂塚氏に事例発表をしていただきました。事例発表を受けて労働衛生コンサルタント前田氏よ

労務管理研修会

12月5日（火）にユニオンビルにて「甚大災害に対する企業対応とその時の労務管理」について講習会を実施しました。

2011年の東日本大震災から6年半が過ぎ、企業の災害の備えとして、大切な人材と施設への対応を考えていく必要があり、社会的責任から近隣や社会とのつながりの中での甚大災害リスクと対応や、いくら非常時とはいえ労務管理も適正に実施しなくてはなりません。最近では隣国からの

安全配慮義務研修会

安全部会の主催で12月12日（火）に「安全配慮義務研修会」をユニオンビルで13：00から16：45まで開催しました。

14社21名の方が研修に参加しました。今回の研修は川崎北労働基準監督署の綾部安全衛生課長より「行政からみた安全配慮義務について」を、安全衛生・メンタルサポートオフィスの保坂氏より「安全配慮義務と安全への投資～安全衛生全員教育で安全人間育成～」について講義をしていただきました。

講義終了後のアンケートでは「全員参加の活動や安全衛生委員会でのレベルアップについて、会社に戻り今後の参考にしていきたい」「教育のテーマはたいへん興味深かつ

基づいた具体的な講義、リスク評価が実際の演習で定量的に評価できて勉強になった」「非常に分かり易い講習で全社に今日の講習内容を伝えたいと思った」等、今回の講習会が新鮮で良かったと言う感想が数名の受講者から寄せられました。本日の研修に参加された方の事業所において無事故・無災害に少しでもお役に立てれば幸いです。



り、集団分析と職場環境改善のポイントについて講義をしていただきました。受講者は、今後のストレスチェック制度の活用への理解を深めることができたことと思います。



ミサイルの脅威にもさらされ、その対応も備えておくことが求められています。

講習は、二部構成で実施し、第一部として、川崎市総務企画局危機管理室の須田氏より、甚大災害（大地震・風水・ミサイル）時に企業がとるべく「備え」と「発災時行動」についてご説明いただきました。第二部としては、川崎北労働基準監督署の綾部安全衛生課長より、重大災害時の労務管理に係わる注意事項などについてご説明いただきました。

18社22名の受講者は、企業の対応について真剣な眼差しで説明に聞き入っていました。

た」「安全衛生委員会の内容を見直す良い機会となった」等、今回の講習会が新鮮で良かったと言う感想が数名の受講者から寄せられました。

本日の研修に参加された方の事業所において無事故・無災害に少しでもお役に立てれば幸いです。



事務局だより

〔支部行事案内〕

◎健康保持増進研修会（川崎南支部との共催）開催案内

開催日 平成30年2月5日（月）
13：30～16：30
会場 川崎市労働会館
募集人員 50名

◎新入社員安全衛生教育の開催案内

開催日 平成30年4月6日（金）
10：00～16：30
会場 エポックなかはら
募集人員 70名

＜新規会員事業場紹介＞

- ・株式会社リゾマグ 様
- ・理想科学工業株式会社理想川崎支店 様
- ・株式会社リョーサン 様

定時総会開催ならびに 労働基準行政運営方針説明会のご案内

公益社団法人神奈川労働安全衛生協会川崎北支部の「平成30年度定時総会」ならびに「労働基準行政運営方針説明会」が下記とおり開催されることになりました。会員事業場の皆様方におかれましては、万障お繰り合わせの上、多数ご出席くださるようお願い申し上げます。

記

◎労働基準行政運営方針説明会

開催日 平成30年4月27日（金）
13：30～15：30
場所 NEC玉川クラブ

◎平成30年度川崎北支部定時総会

開催日 平成30年4月27日（金）
16：00～17：00
場所 NEC玉川クラブ

役員雑記帳

2012年10月から2016年9月までの丸4年間、初めての転勤・初めての単身赴任で福島県郡山市にある弊社工場に勤務しておりました。出張では何度か行っていましたが、まさか勤務するとは思っていませんでした。もともと趣味がある人でなかったのが、週末など何すればいいのかな～ってよく思っていました。（だったら、何か勉強でもしろ！と突っ込まれそうですが…怠け者なのでご容赦を…）しばらくは生活に必要なことで出かけるのと、自宅への月1回の帰省ぐらいの繰り返し。ただ「ま、せっかく東北の地に来ているのだから」と思い、車で観光地に出かけることに。これが1回出掛けると嵌ってしまう性格なのか、赴任期間の後半はかなり足繁く出かけ、異動内示後は最後とばかりに、出掛けまくり。（月曜日の朝は疲れ果てていました…）

出掛けたところは、福島県内は会津や裏磐梯方面が多く、鶴ヶ城や五色沼、大内宿、喜多方などなど。県外は那須高原や仙台、松島、

米沢、山形、平泉など。

中でも嵌まったのは温泉！県内を中心に秘湯！？と呼ばれる温泉を満喫。これが結構おもしろい！温泉と同じくらい、たどり着くまでの行程が結構楽しめる。印象深いのは、山形県米沢市の姥湯温泉と、同じく大平（おおだいら）温泉でした。姥湯は秘湯らしく、こんな奥地にあるのか！という感じ。白濁の湯で、削られた山肌に囲まれた温泉。ここは行く価値あり！大平温泉は車を山頂に止めてから山を下ること20分。やっとの思いで到着。ただ帰りは登りになるので、せっかく温泉に入ったのに汗だくで駐車場まで戻る、苦しい行程でした（苦笑）。ただ今ではいい思い出になっています。

さて話は変わりますが、今年是全国産業安全衛生大会が25年ぶりに横浜で開催されます。昨年（11月8～10日）は同じ港町・神戸で開催され、私も下見を兼ねて参加しました。県支部全体で対応するようですが、私自身も労務部の部会長を仰せつかるので、今年は労安協にかなりの時間を割かれそうです（苦笑）。各種イベントは当然ですが、全国大会も何とか力添えが出来るようにしたいものです。本年もよろしくようお願い申し上げます。

（東京応化工業株式会社・鈴木章浩）

会員事業場PRコーナー

High Speed

世界最速

160

枚/分

Print / Copy



5 Colors

フルカラー

1.44

円/枚

快適なプリント環境が、この一台から生まれます。

Low Cost ORPHIS GD

RISO

プリンターの新領域をひらく

*1: オルフィスGD9630/GD9631の場合、A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時、2017年6月現在販売の枚葉（カット紙）オフィス用カラープリンターにおいて世界最速（当社調べ）。*2: A4普通紙片面、RISO GD-インクF使用時。カラーは解像度300dpi、測定画像にISO/IEC24711に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。用紙別。※写真とはオルフィスGD9630オプション装着時。

理想科学工業株式会社 理想川崎支店

〒213-0001 川崎市高津区溝口2-11-8 リバーストーン第3ビル7F
TEL: 044-829-2230
担当: 廣野真弘 E-mail: hirono-m@riso.co.jp

www.riso.co.jp

《「会員事業場PRコーナー」への 掲載希望事業場募集のお知らせ》

掲載料
無料

会員事業場のPRの場としてご活用いただくことを目的に「会員事業場PRコーナー」を新設いたしました。掲載を希望される会員事業場は事務局（044-850-8621）までご連絡ください。

謹賀新年

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

公益社団法人神奈川労働安全衛生協会

川崎北支部

支 部 長 野 口 純

川崎市高津区二子五―二―五
TEL〇四四―八五〇―八六二一

三菱ふそうトラック・バス株式会社

川崎市幸区鹿島田一―一―二
TEL〇四四―三三〇―八六二一

富士通株式会社

川崎工場

川崎工場長 吉 田 明 宏
川崎市中原区上小田中四―一―一
TEL〇四四―七七七―一一一

あすか製薬株式会社

川崎研究所

川崎研究所長 濱 寄 秀 久
川崎市高津区下作延五―三六―一
TEL〇四四―八三三―五一一

株式会社あすか製薬メディカル

代表取締役社長 蓮 見 幸 市

川崎市高津区下作延五―三六―一
TEL〇四四―八二二―八六九〇

クノール食品株式会社

川崎事業所

川崎市高津区下野毛二―一―二
TEL〇四四―八一―三二四三

株式会社光洲産業

代表取締役 光 田 栄 吉

川崎市高津区久地四―一〇―一
TEL〇四四―八二二―七九六七

サントリーMONOZUKURI

エキスパート株式会社

川崎市中原区今井上町一―三―二
TEL〇四四―七三八―五一一

信号器材株式会社

川崎市中原区市ノ坪一六〇
TEL〇四四―四一一―二二九一

株式会社末長組

代表取締役 根 本 裕 之

川崎市高津区梶ヶ谷三―一―三
TEL〇四四―八八八―二〇六八

聖マリアンナ医科大学病院

川崎市宮前区菅生二―一六―一
TEL〇四四―九七七―八一二一

帝国通信工業株式会社

川崎市中原区荻宿四五―一
TEL〇四四―四二二―三二七一

東京応化工業株式会社

川崎市中原区中丸子一五〇
TEL〇四四―四三五―三〇〇五

株式会社日経東京製作センター

川崎工場

工場長 桐 生 好 信
川崎市高津区久地三―一六―二
TEL〇四四―八二〇―三〇一八

日本電気株式会社

玉川事業場

地区責任者 藪 内 正 三
川崎市中原区下沼部一七五三
TEL〇四四―四三五―一〇一三

日吉電装株式会社

代表取締役社長 仁 上 洋 一 郎

川崎市中原区宮内二―二五―二九
TEL〇四四―七六六―〇一八六